

教 師 ノ ー ト

日付	2019年 6月16日
単元	ペンテコステ
テーマ	聖霊を受けなさい
タイトル	テモテ～力と愛と慎み
テキスト	Ⅱテモテ1:7-8
参照箇所	使徒 1:8、ローマ 5:5、Ⅰヨハネ 4:18、Ⅱテモテ 2:1、ガラテヤ 5:22、Ⅰコリント 16:10
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	Ⅱテモテ1:7
AG 日曜学校教案参照箇所	

□導入

誰でも「こわいなあ」と思うことがあります。最近、どんなことを「こわいなあ」と思いましたか？大伝道者パウロを助けたテモテという人がいました。若いテモテは、どうやら臆病で、体も強くはなく、心も弱かったようです。牢獄の中にいるパウロがそんなテモテを励ますために心を込めて書いた手紙があります。どんなことが書かれているのでしょうか？

□ポイント1 聖霊は、力を与えます(1:7-8)

イエス様のことを宣べ伝えていたことが原因で、パウロ先生は獄に入れられてしまいました。若いテモテは自分も同じように捕まってしまうかもしれないと思ったかもしれません。しかし神様が私たちに与えて下さった聖霊は、弱気になる私たちに力を与えます。それはイエス様のことをあかしする力です。そして苦しいことがあっても耐えていく力です。人間の勇気や力には限界があります。でも神様は、聖霊の力を与えてくれるのです。

☞ここで使われている力は「デュナミス」という単語で、ダイナマイトの語源として使われるほどの圧倒的な力です。しかし破壊的な力ではなく、困難に負けない力、人を生かす力(長血の女性に流れた主イエスの力と同じ力)です。

□ポイント2 聖霊は、愛を与えます(1:7、Ⅰヨハネ 4:18)

聖霊は、私たちに愛を与えます。愛は恐れを締め出します。そして臆病を取り除きます。聖霊は恐ろしかったり臆病になったりする私たちの心を、神様の愛でいっぱいにしてくれるのです。

☞例話① 火事になってしまった時、家の中にまだ小さな子どもがいることが分かりました。しかし火の手が強くなり助けに行くと自分も大火傷するかもしれません。その時、バケツの水をかぶって炎の中に入っていき人がいました。そして火傷を負いながらも、子どもを助け出すことができました。その助け出した人は、その子のお母さんでした。炎を恐れることよりも、我が子を愛しているから、助け出さずにはおれなかったのです。「愛は恐れを締め出します」

☞例話② 無視されていじめられている友だちがいました。「助けてあげたい」、「味方になってあげたい」と思うのですが、そうすれば今度は自分がいじめられてしまうかもしれません。臆病になります。でも本当の友だちなら、自分がいじめられるかもしれないという恐れや臆病に負けないで、友情を大切にします。そのように友だちを大切にする愛も、聖霊が与えてくれるのです。

□ポイント3 聖霊は慎みを与えます（1:7）

自動車のエンジンを力（どんな坂でも困難でも登れます）、アクセルを愛（恐れなくて行動する）としたら、慎みはブレーキとしてたどえることができるでしょう。自動車にブレーキがついていなかったら、一緒に乗っている人を危険な目にあわせてしまうことになります。聖霊は、私たちに慎みを与えてくれます。慎みとは、相手のことを思いやって自制をすることができる心のことです。

☞例話 いつも一緒に仲良くしている友だちのグループから、チームプレーで万引きを一緒にしないかと誘われたとします。悪いノリで友だちは盛り上がっています。断れば、その場の空気を読めない人（KY）のように盛り上がりやを消してしまうかもしれません。しかし万引きをすることは、もちろん悪いことだし、店の人にも、そして友だちにもよくないことです。しかし本当の友だちとは、間違っている時に間違っていると言える関係でしょう。聖霊は恐れる私たちの心に、友だちを思いやり、「NO」と言える慎みを与えて、良いブレーキ役として下さるのです。

□結論 恐れったり、臆病になることがあります。そんな時、お祈りをし、聖霊から力と愛と慎みとをいただきましょう。

☞教師自身の体験として、聖霊の力、愛、慎みが与えられたという具体的な証しをするのも良いでしょう。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

次の3つの内、どれが自分に足りないと思いますか？

- ①イエス様を証する力（友だちにイエス様のことを話したり、教会に誘うこと）、
- ②人を愛すること（お父さんやお母さんの言うことを聞くこと、兄弟げんかや友だちを仲間外れにしないこと）、
- ③がまんするという慎み（みんながやっているからといって一緒になって悪いことをしないこと、ゲームやテレビに夢中になることをがまんして宿題やお手伝いをする）

今から一緒にお祈りをして聖霊なる神様から力と愛と慎みを頂きましょう！そして聖霊によって「こうできます」と決心して実践していきましょう。私たちがしなかった親切は、イエス様にしなかったこととなります。私たちのまわりに困った人がいたら、自分に何が出来るかを考えましょう！それがどんなに小さなことでもイエス様にしたこととして、イエス様が大いに喜んでくれます。